

# 第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名:福島県 土木部 都市領域

事業の名称:会津都市計画道路

亀賀門田線整備事業

実施都市名:福島県 会津若松市

## 事業の目的

会津都市計画道路亀賀門田線は、会津若松市を南北に縦貫する重要な幹線道路で、沿道には観光の拠点である「鶴ヶ城」をはじめ、小中学校及び高等学校等の文教施設、公官庁等の公共施設や病院等が集積し、オフィスや商店が連なっており、市民が通勤通学や買い物等で頻繁に利用する最も身近な道路で、また年間を通じて多数の観光客が訪れる道路です。

しかし、現道は狭く、冬期間には積雪によって歩道が一層狭くなり混雑して危険であったことから、安全で円滑な交通を確保するとともに、良好な道路環境を創出し、活力のある地域づくりを支援する道路を整備しました。

## 事業概要（１）

事業名：会津都市計画道路

亀賀門田線整備事業

路線名：亀賀門田線

事業箇所：会津若松市米代～会津若松市西栄町

事業延長：930m

幅員：20～22m（2車線）

総事業費：約46億円

事業期間：平成8年～平成17年

## 事業概要（２）

本事業により、「鶴ヶ城」に接する部分を含む延長930mを整備しました。改良前は、全幅員9.5m、うち歩道幅員1.5mと狭い道路であったが、改良後は、全幅員が20～22mとなり、4mの幅広歩道や付加車線、停車帯を設け広く快適な道路空間を整備しました。

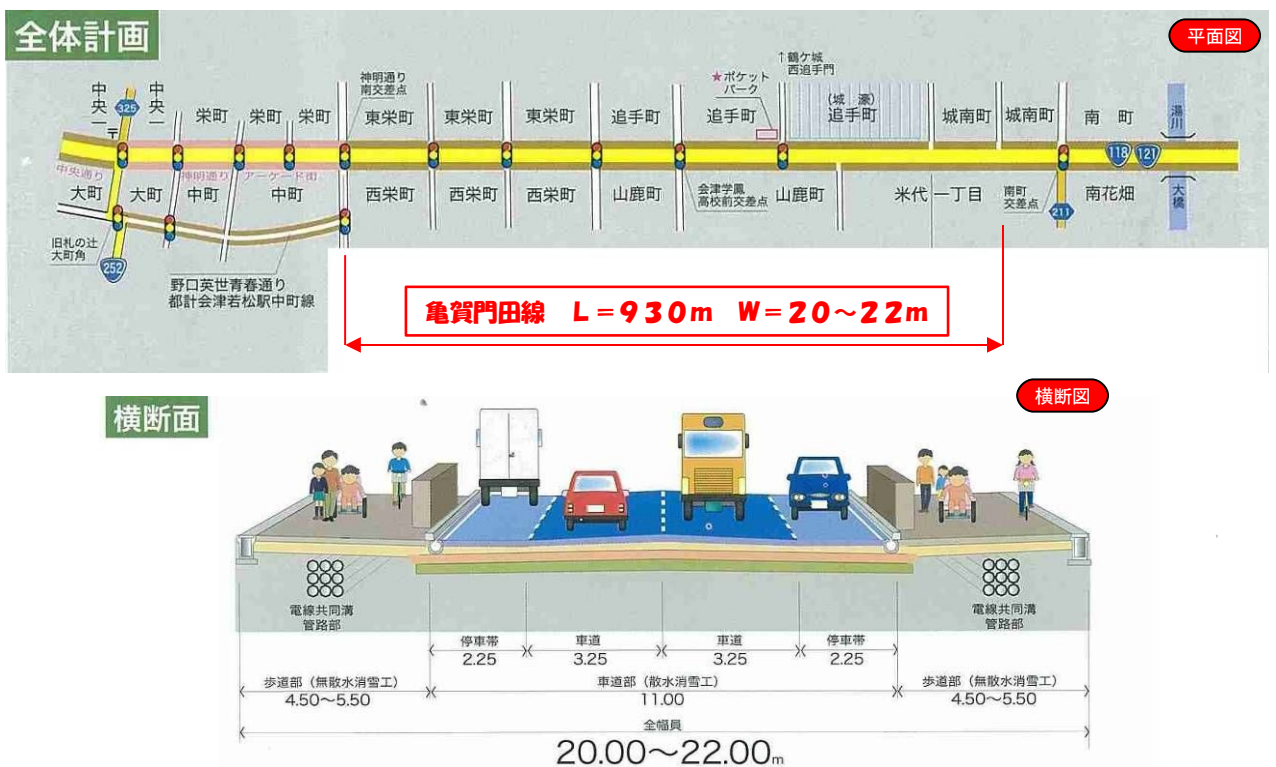
また、本路線は交通バリアフリー、冬期バリアフリーに指定されており、事業区間の電線地中化を行うとともに、歩道に消雪施設を設置し、降雪地域においても通年で安全が確保され、歩行者に優しい道路を整備しました。

さらに、沿道にポケットパークを整備し、まちなかの憩いの空間を創出しました。

# 事業位置図



## 全体図(平面図・横断図)



# 亀賀門田線の整備効果アピール資料



## ○事業概要

事業名: 会津都市計画道路  
亀賀門田線整備事業  
路線名: 亀賀門田線  
事業箇所: 会津若松市米代  
～会津若松市西栄町  
事業延長: 930m  
幅員: 20m～22m(2車線)  
総事業費: 約46億円  
事業期間: H8～H17年度

## ○交通量調査結果

供用前 平成 9年10月 7日  
供用後 平成18年11月 9日  
リンク1)  
交通量 12,500台→12,645台  
旅行速度19.8Km/h→21.8Km/h  
リンク2)  
交通量 26,655台→20,515台  
旅行速度25.7Km/h→30.0Km/h  
リンク3)  
交通量 10,970台→6,132台  
旅行速度18.4km/h→19.1km/h

## 「整備効果」

### ○交通量の分散

会津若松裏磐梯線の交通量23%減少  
会津若松三島線の交通量44%減少

### ○旅行速度の向上

(都) 亀賀門田線 9%向上  
会津若松裏磐梯線 14%向上  
会津若松三島線 4%向上



事業前: H8.4



事業後: H18.7



# 事業前写真

平成8年4月撮影



平成8年12月撮影





# 事業後写真

平成18年7月撮影



平成18年9月撮影



平成18年2月撮影

